平成25年度決算報告
町の家計簿
をお知らせします

平成25年度の神崎町一般会計と特別会計、企業会計の決算が9月定例議会で認定されました。

皆さんが納めた税金や、国・県からのお金がどれだけ町に入り、どのように使われたかを知っていただくために、ここでお知らせします。

一般会計の決算では、東日本大震災に関連する事業が浄水場を除き完了したことにより、歳入・歳出ともに24年度を下回る規模となりました。なお、決算収支については黒字決算となりました。

今後も、道の駅整備などの事業を進めていくために、より安定した財政基盤の確立を目指して、さらに効率的な行財政運営に努めていきます。

一般会計

歳入総額は、30億3356万8千円（前年度比4.6％減）、歳出総額は、27億7457万8千円（前年度比1.9％減）で、歳入から歳出を差し引き、さらに翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は、2億1600万5千円となりました。

また、町の貯金である財政調整基金は、2億4823万7千円を積み立てましたので、年度末の残高は13億4259万5千円となりました。

歳入

歳入の22・0％を占める町税収入は、法人町民税が減少したことにより、前年度に比べ1966万1千円（2.9％）減となりました。

地方交付税（国から町へ交付されるお金）は11億5219万7千円で、前年度に比べ1億6135万3千円（16・3％）増となりました。地方交付税と町税で歳入全体の60・0％を占めています。

国県支出金（国や県からの補助金など）は、東日本大震災関連の災害復旧費国庫負担金の減少などにより、前年度に比べ8002万1千円（19・7％）減となりました。

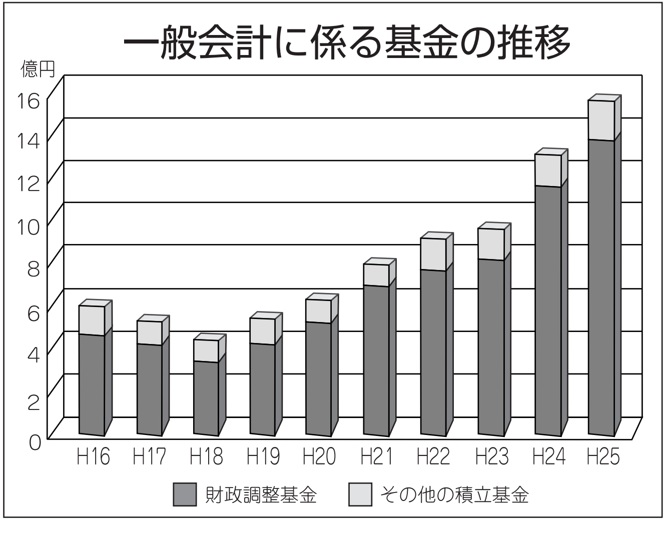
歳出

歳出を性質別に見ると、人件費、補助費、物件費、公債費や扶助費などの経常的経費が18億9841万9千円（前年度比1.8％増）で、全体の68・4％を占めています。

道路整備や災害復旧などの事業を行うための投資的経費は3億9075万4千円（前年度比3.8％増）で、全体の14・1％となりました。

平成25年度に実施した主な事業は下記のとおりです。

財政状況については、財政調整基金の残高が増えるとともに、経常収支比率（経常的に収入される税金や交付税などのうち、経常経費として使われる割合）が7.6％改善し81・4％になるなど、行財政改革の成果があがってきています。今後も、持続可能な財政運営のため、さらなる経費の節減に努めていきます。



平成25年度に実施した主な事業

- 道の駅駐車場整備事業　1億1763万円
- 並木郡根岸線道路改良事業　3751万円
- デジタル防災行政無線改修事業　3518万円
- 水道事業繰出金（浄水場移転復旧事業分）　1億2899万円

浄水場移転工事の様子